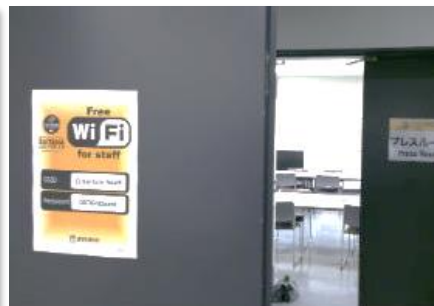


2014ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム

- 施設ジャンル
イベント
- 導入時期
2014年10月
- 概要



ツール・ド・フランスの主催者が、史上初めて主催した、ツール・ド・フランスの名を冠したクリテリウム。

- ①レースのスタート/ゴール地点
- ②さいたまスーパーアリーナ内、プレスルーム
- ③さいたまスーパーアリーナ内、パブリックビューイング会場

上記3つの会場にNTT東日本様が個別回線で、それぞれ独立したネットワークシステムのWi-Fi環境を構築。

3つの会場それぞれに、認証コントローラーとして **MicroPOPCHAT II** を設置し、3台とも **POPCHAT@Cloud** との連携を設定。それにより、付加価値を備えたWi-Fiサービスを実現。

サービス概要

01 3つの会場全体に渡るWi-Fi最大認証数の上限を、10,000まで拡張。3つの会場に渡って認証情報を共有し、認証ローミング

02 「アンケートに答えるだけで認証OK」となる「アンケート認証」

面倒なパスワード認証ではなく、より簡便な認証方式。利用者に関係者双方にとってのメリットを実現。

- ① Wi-Fi (SSID: 000Criterium) を選んで接続し、
- ② ブラウザを開いて通信しようとする、アンケート認証画面が表示される。
- ③ 設問に回答し&ご利用規約を読み、接続開始のためのボタンを押下すると...
- ④ インターネット接続完了！
(今回は、イベント公式サイトを優先配信しました)



Wi-Fi (SSID) 選んで、
ブラウザ起動すると...

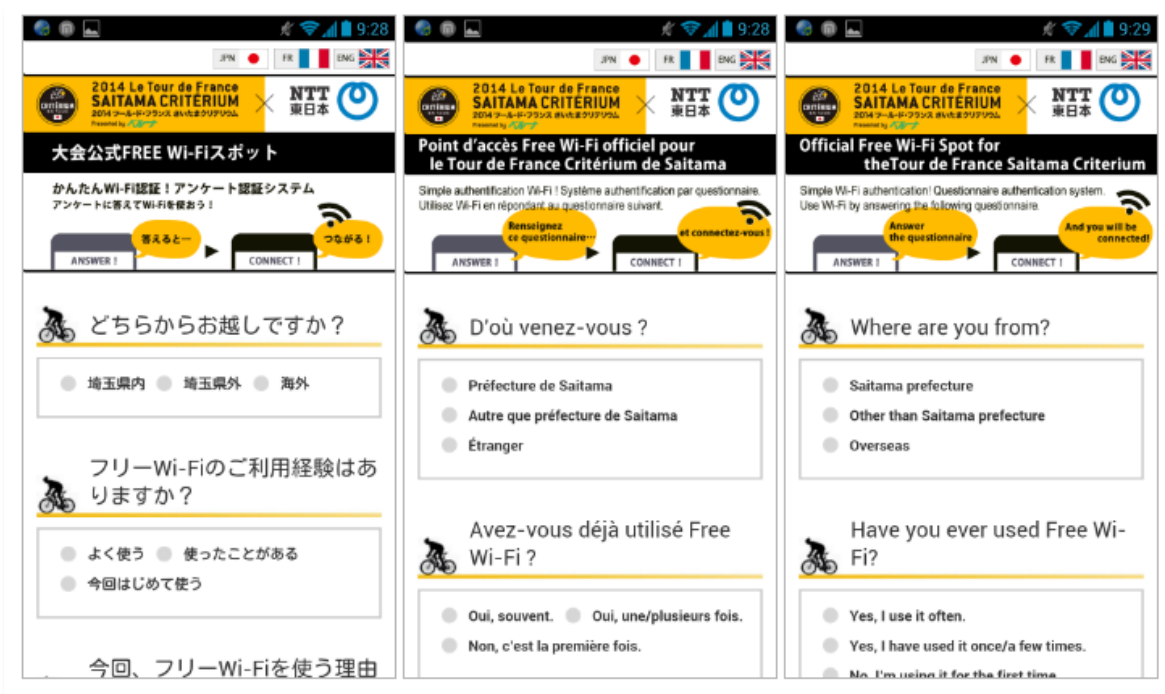


サービス概要

03 Wi-Fi利用者の言語を自動識別

日・仏・英の中からマッチする言語のアンケート認証画面を自動で切り替え表示。
マッチする言語が日仏英に該当しない利用者には、英語版を表示。

▼アンケート認証画面イメージ

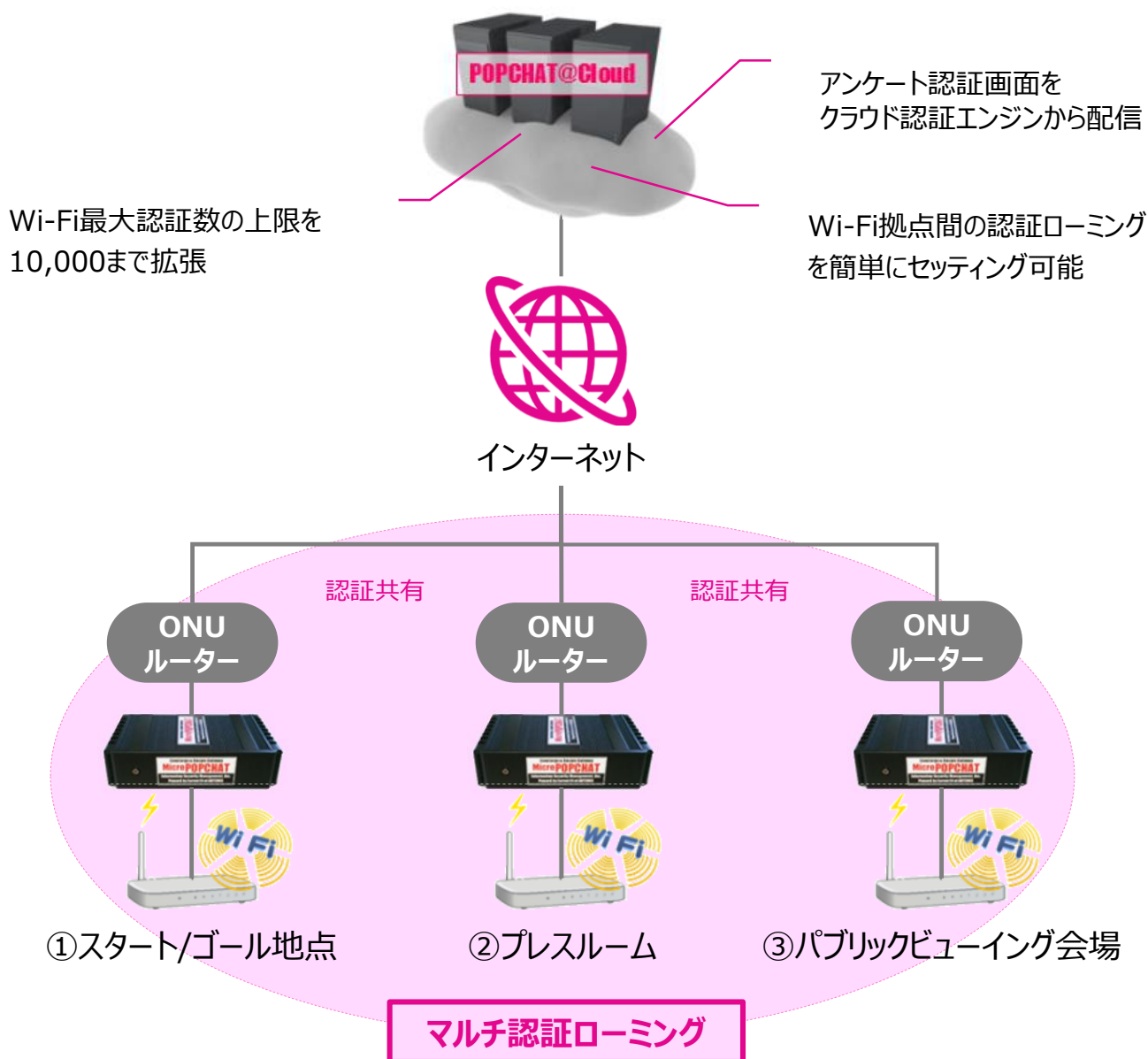


04 ゲスト向けと、スタッフ向け、区別された認証画面配信を自動制御

ゲスト向けSSIDと、スタッフ向けSSIDの2つのSSIDそれぞれで、別々の異なる認証方式を採用し、区別された認証画面配信を自動制御。

スタッフ用SSIDからのWi-Fi接続では、最低限の認証方法として端末のMACアドレス認証のみで完結。自動処理されるため、利用者本人は一切の操作することなく接続が可能。

3つの会場を繋いだPOPCHAT@Cloudのマルチ認証ローミング



※実際の3つの会場では、それぞれのPOPCHATのLAN側には、L2スイッチにより「AP複数台+優先LAN」のインターネット環境を構築。

▼会場でのWi-Fi設置の様子

